

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成29年 3月10日

計画の名称	1 安全・安心で快適な魅力あるまちの実現		
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度 (5年間)	交付対象	市川市
計画の目標	下水道整備を行い、安全で安心して暮らせる快適な魅力あるまちを実現し、質の高い都市基盤整備を進める。		
計画の成果目標 (定量的指標)	下水道処理人口普及率を67.0% (H23) から71.5% (H27) に増加させる。		
定量的指標の定義及び算定式			定量的指標の現況値及び目標値
			当初現況値 (H23当初) 中間目標値 (H25末) 最終目標値 (H27末) 備考
下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口 (人) / 総人口 (人)	67.0%	69.8%	71.5%
全体事業費	合計 (A+B+C)	4,607百万円 4,027百万円	A 3,988百万円 3,813百万円 B 0百万円 C 619百万円 214百万円
			効果促進事業費の割合 C / (A+B+C) 13.4% 5.3%

事後評価 (中間評価)

○事後評価 (中間評価) の実施体制、実施時期	
事後評価 (中間評価) の実施体制	事後評価 (中間評価) の実施時期 平成28年11月
・市川市下水道審議会にて下水道事業の実施状況を報告	公表の方法 市のホームページにて公開

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
江戸川左岸処理区																	
A1-2-1	下水道	一般	市川市	直接	-	汚水	新設	大野幹線 (未普及解消)	φ200～φ400、L=600m	市川市						81 122	
A1-2-2	下水道	一般	市川市	直接	-	汚水	新設	大野幹線区域枝線整備 (未普及解消)	φ200～φ250、L=1,300m	市川市						130 219	
A1-2-3	下水道	一般	市川市	直接	-	汚水	新設	南大野1号幹線 (未普及解消)	φ350～φ900、L=700m	市川市						122 269	
A1-2-4	下水道	一般	市川市	直接	-	汚水	新設	南大野1号幹線区域枝線整備 (未普及解消)	φ200、L=400m	市川市						51 47	
A1-2-5	下水道	一般	市川市	直接	-	汚水	新設	泰免1号幹線区域枝線整備 (未普及解消)	φ200～φ250、L=500m	市川市						237 156	
A1-2-6	下水道	一般	市川市	直接	-	汚水	新設	宮久保幹線 (未普及解消)	φ200～φ600、L=1,900m	市川市						308 303	
A1-2-7	下水道	一般	市川市	直接	-	汚水	新設	宮久保幹線区域枝線整備 (未普及解消)	φ200、L=3,300m	市川市						370 370	
A1-2-8	下水道	一般	市川市	直接	-	汚水	新設	北方汚水1号幹線 (未普及解消)	φ200～φ700、L=800m	市川市						187 181	
A1-2-9	下水道	一般	市川市	直接	-	汚水	新設	北方汚水1号幹線区域枝線整備 (未普及解消)	φ200、L=2,800m	市川市						387 400	
A1-2-16	下水道	一般	市川市	直接	-	汚水	新設	下貝塚幹線 (未普及解消)	φ350、L=500m	市川市						121 15	

C-2-4	下水道	一般	市川市	直接	-	新設	宮久保幹線区域枝線整備（未普及解消）	φ200、L=1,200m	市川市									120
																		65
C-2-5	下水道	一般	市川市	直接	-	新設	北方汚水1号幹線区域枝線整備（未普及解消）	φ150～φ200、L=800m	市川市									52
																		26
C-2-8	下水道	一般	市川市	直接	-	新設	北方汚水3号幹線区域枝線整備（未普及解消）	φ200、L=100m	市川市									15
																		2
C-2-9	下水道	一般	市川市	直接	-	新設	北方汚水4号幹線区域枝線整備（未普及解消）	φ200、L=400m	市川市									37
																		3
C-2-10	下水道	一般	市川市	直接	-	新設	奉免4号幹線区域枝線整備（未普及解消）	φ200、L=100m	市川市									4
																		0
C-2-11	下水道	一般	市川市	直接	-	新設	国分幹線区域枝線整備（未普及解消）	φ200、L=100m	市川市									15
																		3
C-2-12	下水道	一般	市川市	直接	-	新設	国分南1号幹線区域枝線整備（未普及解消）	φ200、L=100m	市川市									11
																		5
C-2-13	下水道	一般	市川市	直接	-	新設	矢切第1号汚水幹線区域枝線整備（未普及解消）	φ200、L=100m	市川市									11
																		1
C-2-14	下水道	一般	市川市	直接	-		下水道中期ビジョン策定事業	下水道中期ビジョン策定	市川市									8
																		8
西浦処理区																		
C-3-1	下水道	一般	市川市	直接	-	新設	中山2号幹線区域枝線整備	φ250～φ300、L=400m	市川市									60
																		11
C-3-2	下水道	一般	市川市	直接	-	新設	中山3号幹線区域枝線整備	φ250～φ300、L=1,400m	市川市									197
																		37
C-3-3	下水道	一般	市川市	直接	-	新設	中山遮集幹線区域枝線整備	φ200～300、L=200m	市川市									2
																		2
																	619	
																	合計	214

番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考
C-2-1～13	基幹事業である管渠と接続する枝線整備を一体的に行うことにより、下水道の普及が図れるため。																
C-2-14	基幹事業と一体的に実施することにより、下水道施策をより効果的に実施することが可能となり、計画の目標をより良く達成することができる。																
C-3-1～3	基幹事業である管渠と接続する枝線整備を一体的に行うことにより、下水道の普及が図れるため。																

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況																	
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況			・未普及対策事業により面整備を行い、下水道処理人口普及率が増加し、放流水質の改善がなされた。														

II 定量的指標の達成状況	指標（下水道処理人口普及率）	最終目標値	71.5%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	71.9%		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)																	
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

3. 特記事項（今後の方針等）																	
・松戸幹線、市川幹線区域での管渠整備を引き続き実施することにより、未普及対策事業を進める。																	

水の安全・安心基盤整備

